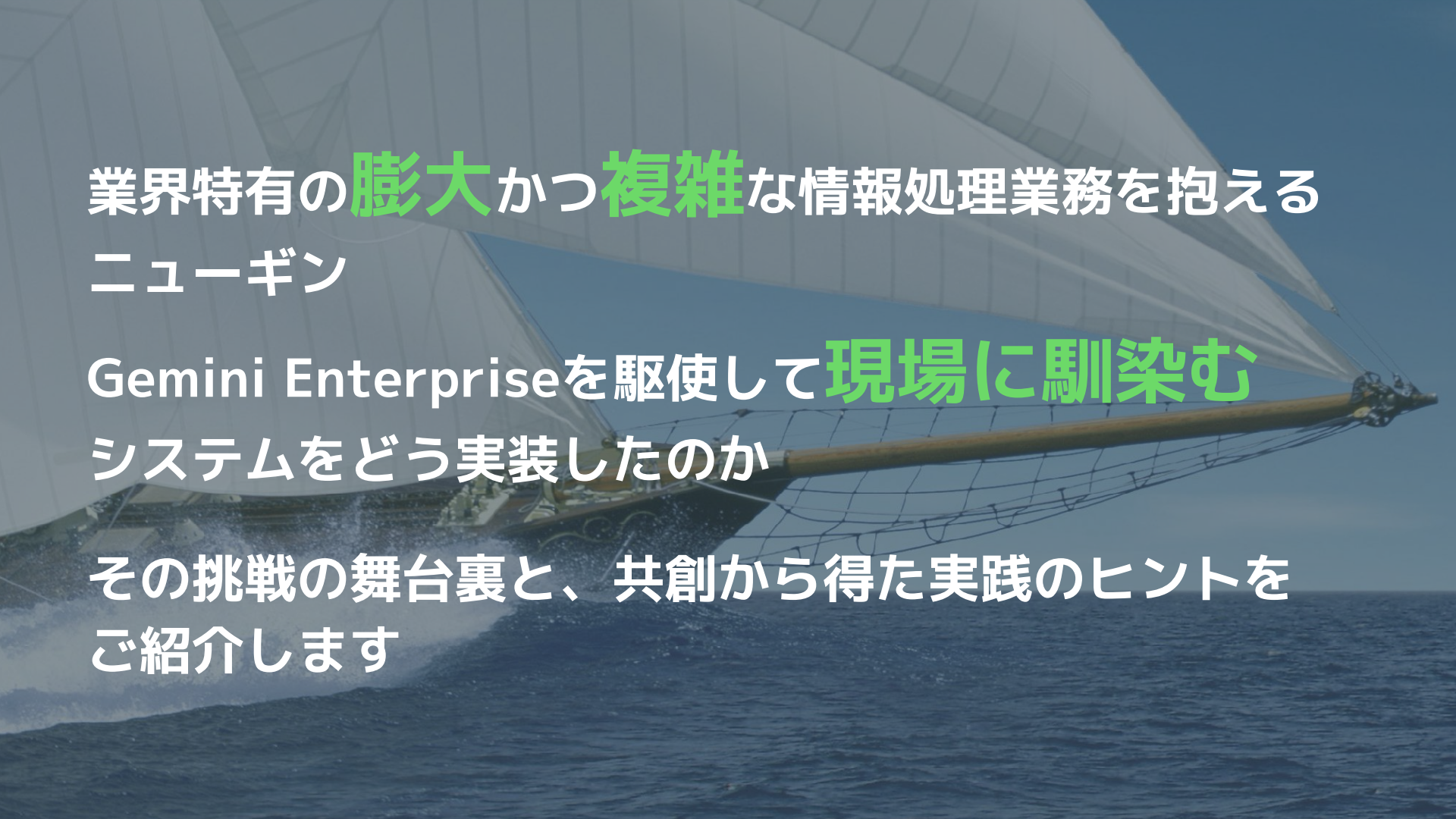




BE A SOLID.

AI 活用でエンタメの未来は
どう変わるか。

ニューギン × Gemini Enterprise が描く
次世代の姿



業界特有の**膨大**かつ**複雑**な情報処理業務を抱える
ニューギン

Gemini Enterpriseを駆使して**現場に馴染む**
システムをどう実装したのか

その挑戦の舞台裏と、共創から得た実践のヒントを
ご紹介します

株式会社ニューギンとは



遊びの可能性を追求し、心を動かす体験を創造する

1968年の創業以来、ぱちんこ・パチスロの企画・開発・製造・販売を通じて、全国の遊技機ホールに新しい価値を提供し続けています。

これからも
新しい体験を
お届けします！



株式会社ニューギン	ぱちんこ開発
株式会社 EXCITE	パチスロ開発
株式会社ニューギン販売	遊技機販売
他グループ会社	アドバンス・シンセイ等

ニューギングループ公式キャラクター ギンちゃん

「ギンちゃん」は、遊びの楽しさや
未来へのワクワクを伝える
ニューギンの公式キャラクターです。

設立
1968 年

従業員数
610 名
(グループ合計)

拠点
22 拠点
(支店・営業所・ショールーム)

主な事業
ぱちんこ・パチスロの
企画・開発・製造・販売

主な顧客
全国の
遊技機ホール

代表的なIP
花の慶次シリーズ
リコリス・リコイル

「花の慶次シリーズ」など長年支持されるシリーズに加え、近年は
「リコリス・リコイル」など若年層向けIPにも力を入れています。

2025年実績(グループ合計)

ぱちんこ・パチスロ
販売台数 約 **7.8** 万台
業界 8 位

ぱちんこ・パチスロ
販売台数シェア **5.1** %

※2025年基準(速報値)

講演者紹介



カツラダ ケンジ

桂田 健次

株式会社ニューギン

AIソリューション推進室 次長

- **本プロジェクトでの役割**
 - プロジェクト監修
- **これまでの経験**
 - 遊技機開発責任者
- **専門領域**
 - 組織マネジメント
 - 遊技機プログラミング

講演者紹介



マツダ タクヤ

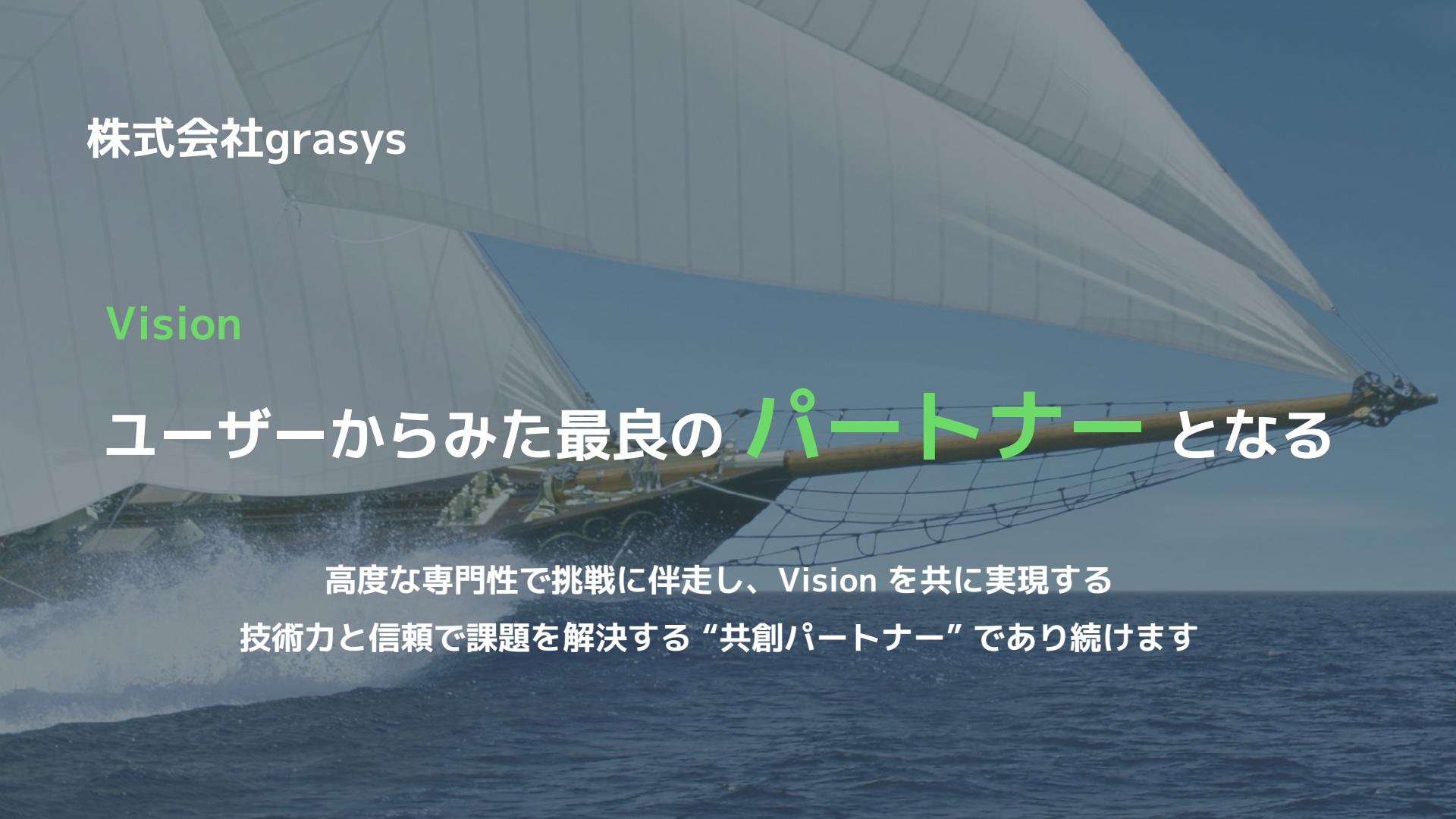
松田 拓也

株式会社ニューギン

AIソリューション推進室

エキスパート

- **本プロジェクトでの役割**
 - AI ソリューション仕様設計
- **これまでの経験**
 - ゲーム 3D 制御プログラム開発
- **専門領域**
 - パチンコ・メイン制御プログラム
 - C/C++ ツール開発



株式会社grasys

Vision

ユーザーからみた最良の **パートナー** となる

高度な専門性で挑戦に伴走し、Vision を共に実現する
技術力と信頼で課題を解決する“共創パートナー”であり続けます

grasys - 会社概要

3つのコア事業領域



AI ソリューション

Gemini Enterprise のエージェント開発やLLM を活用したシステム開発



データ ソリューション

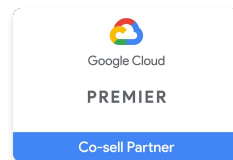
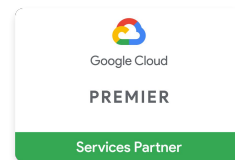
データ基盤構築や社内データを活用したシステム開発



クラウドインフラ ソリューション

クラウドインフラの設計・構築・運用

Google Cloud パートナー



導入実績



講演者紹介



シナジ テツヤ

品地 哲弥

株式会社grasys

CloudTech div.

Cloud Development sec.

- **本プロジェクトでの役割**
 - チーフエンジニア
 - 主に Gemini Enterprise 導入を推進
- **これまでの経験**
 - VOD/Live 配信システム
 - AI-OCR 経費申請システム
- **専門領域**
 - クラウドソリューション開発

アジェンダ

1. AI 導入の背景と全社展開のロードマップ
2. Gemini Enterprise が AI 導入に最適なサービスである理由
3. AI 活用の促進として現状の課題を AI 支援
4. 具体的に実施した内容
5. 手応えと今後の計画

1. AI 導入の背景と全社展開のロードマップ

AI 導入の背景

業務効率化やコスト削減と同時に、変革に必要な基盤としての
「AI 導入」を目指した

2024

Copilot 全社導入も有効活用されていない状態

リスク管理、組織的な活用ができていないなどが初期の課題

2025/5

AI に関するビジョン策定、統括部署の設立

ビジョン達成に向けて、AI の本格的な検討が開始

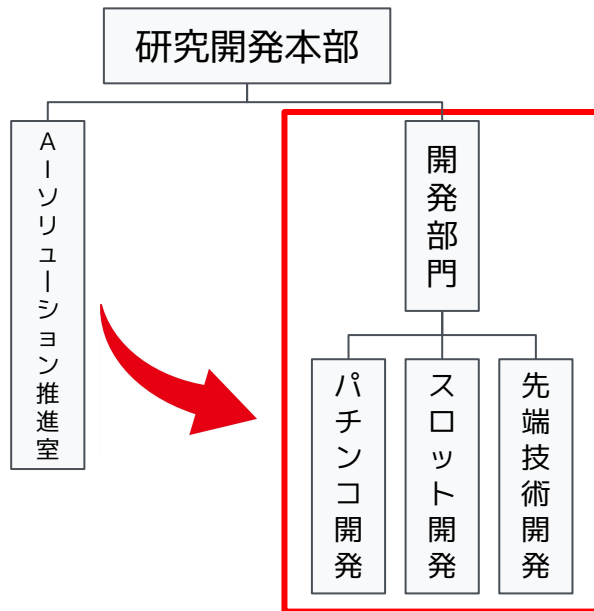
目指す
ゴール

お客様に楽しんでもらえるものづくりをすること

業務効率化やコスト削減の成果を、遊技機の魅力をさらに追求するための投資へ変える

全社展開のロードマップ

専門部署が旗振り役を担い、まずは基幹部門での効果創出と知見の蓄積を目指す



「AI ソリューション推進室」は

環境整備や各部署への活用提案を担う

全社展開のロードマップ

1. 開発部門で成果と知見を蓄積
2. 他部門へ展開し、各業務での成果と知見を蓄積
3. 部門横断のシナジーで会社全体の変革を目指す



2. Gemini Enterprise が AI 導入に 最適なサービスである理由

ウェブアプリだから、全社員への配布・展開が簡単

01 URL 共有のみで即座に全社配布 個別インストール一切不要

ブラウザで専用 URL を開くだけで即座に利用可能
配布やインストールの管理コストがゼロ

02 管理者がコネクタを事前設定 ユーザーの初期設定は不要

業務に必要な連携設定（Box や Slack 等）を一括で適用
ユーザーはログインした瞬間から、業務開始が可能

03 部門ごとのプリセット調整 複数 Web アプリの個別構築

開発には GitHub、営業には Salesforce など、
業務に最適化した専用のアプリをそれぞれ個別に提供可能

答えがある資料 ではなく 答えそのもの が見つかる

Before 答えまで遠すぎる 2 ステップ

After Gemini に聞くだけの 1 ステップ



長文ドキュメント・巨大スプレッドシート



Ctrl+F で検索

😞 やっと目的の数値を発見

 Gemini Enterprise

Q3の予算実績、最終の着地数値はいくら？

+ % 📄 3.5 Flash ▾ ➤

💡 根拠ソース付きの「回答」が届く

チャットからエージェントへ

会話の延長でつながるワークフロー

01 | Gemini とのチャットに慣れる

まずは日常的な質問や情報整理などで
チャットでのやり取りを習熟



コネクタ・アクション

02 | シームレスにエージェントへ

いつものチャット UI のまま、
アクションを追加して自動化

Human-in-the-Loop によるリスク防止

Gmail

以下の詳細を確認してください。

Subject*

Q3システム構築プロジェクトお見積書のご送付（自動送信）

To*

shinaji@grasys.io

Content*

品地様

いつも大変お世話になっております。株式会社grasysのGemini Enterpriseアカウントエージェントです。

先ほどお打ち合わせの中でご指示いただきました、Q3の「システム構築プロジェクト」に関する正式なお見積書とプロジェクトロードマップが完成いたしましたので、品地様のご確認用（BCC）として、自動送信ログとともに送付いたします。

【AIエージェントによる自律処理のログ】

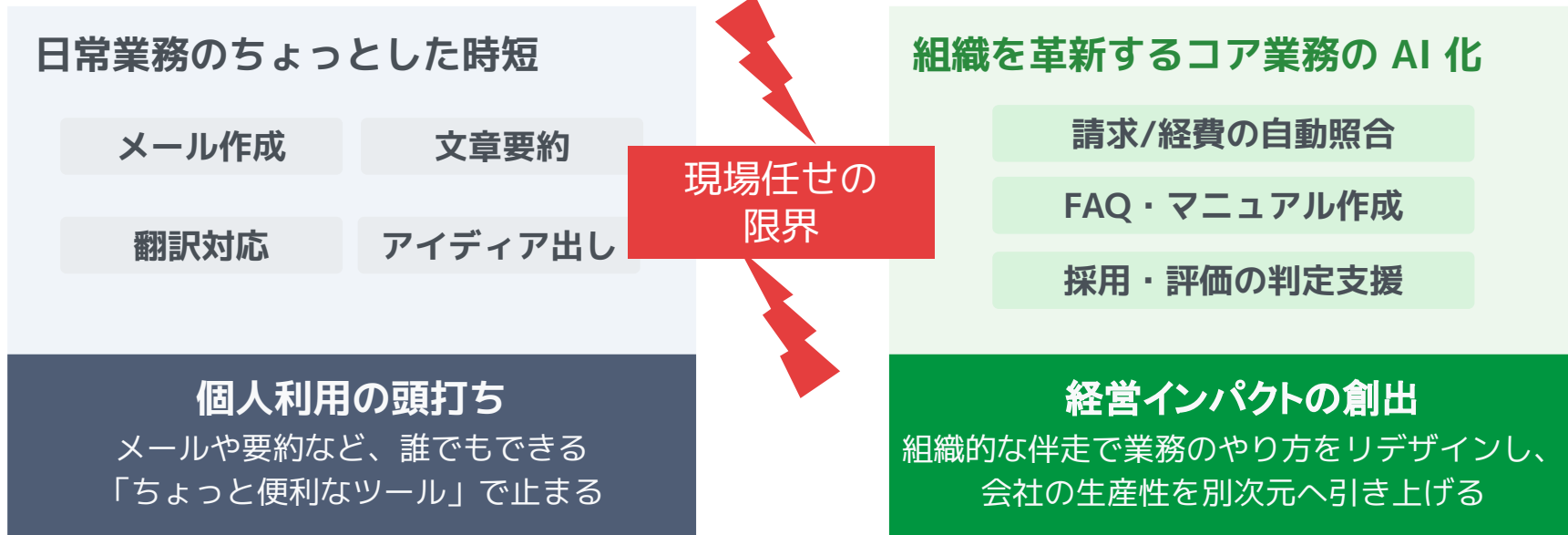


実行前にユーザーの承認を要求



3. AI 活用の促進として現状の課題を AI 支援

現場任せが、AI 活用の断絶を生む



💡 ツールを「配るだけ」では具体的にどうすればいいのかが分からず頭打ち

「コア業務の AI 化」へ移行するには、組織主導による伴走・開発の仕組みが不可欠

コア業務の AI 化：型式申請書 3,000 ページの作成業務

型式申請書

遊技機の発売に不可欠な、国の基準への適合を証明する技術仕様書
出玉設計やプログラム等の詳細を記載した「**公式な設計図 兼 説明書**」

▼ 人海戦術 がもたらす、稼働コストと不適合リスク

01. 膨大な記述量

| 約 3,000 ページ/機種

新機種リリース毎に作成が必要で、極めて高い作成負荷がかかる

02. 膨大な作成・チェック

| 約 30,000 時間/年

スペック値、数式、図面の矛盾を目視で 1 行ずつ検証
極めてアナログな人海戦術

03. 申請不適合のリスク

| 再申請・計画遅延

万が一不整合があれば
「再申請のリスク」
リリースの致命的な遅延を招く恐れ

知識ゼロなら 1 行もチェック不可

直感的な理解を拒む用語の壁 — 日本語なのに、専門知識がないと解読できない

例

遊技球が**始動口**に入賞し、特別図柄表示装置 1、又は特別図柄表示装置 2 が作動して、特別図柄表示装置 1、又は特別図柄表示装置 2 に特別電動役物 2 が作動することとなる図柄の組合せが表示され、**上大入賞口**開放後、上大入賞口内に遊技球が入賞中、かつ**特定の領域**を通過した場合に**条件装置**が作動し、役物連続作動装置が作動すると遊技状態は大当たり時となる



① **始動口**
(=ヘソ)

② **上大入賞口**
(=アタッカー)

③ **特定の領域**
(=Vゾーン)

④ **条件装置**
(=大当たりフラグ)



つまり：**ヘソ**で図柄が揃うと**アタッカー**が開放し、
その中にある**Vゾーン**を玉が通ることで**大当たり**がスタート。**右打ち!**

4. 具体的に実施した内容

現場のノウハウをスキル化する

Gemini にチェック手順を伝授

01 | Agent Skills を作成

仕様書をもとに型式申請書の内容を
どういった観点でチェックするかの
SKILL.md を作成

Google Storageに保存

02 | データストアに取り込み

Gemini が必要に応じて SKILL.md を
参照できるようデータストアに取り込み

Files

featu...
Go to file

apps

typetest_skills

harness

skills

dashboard-generator

generate-state-char...

pachinko-fuden-tok...

REFERENCE.md

SKILL.md

pachinko-typetest-c...

pachinko-typetest-r...

reliability-evaluator

timing-diagram-svg...

typetest-behavior-c...

typetest-document-...

typetest-review-skill

typetest-source-trut...

write-a-skill

.gitignore

README.md

Preview
Code
Blame
114 Lines (114 loc) · 10.4 KB

name	pachinko-typetest-fuden-tokuden-verifier
description	パチンコ遊技機の主制御（普電・特電系）時間値整合性検証スキル。型式試験申請書（Word）の各種秒数値が、設計仕様書（Excel/CSV）と整合しているかを比較し、割込み補正（4ms）や球端み解除動作を含む時間算定を用いて判定します。

パチンコ普電・特電時間値整合性検証スキル

Quick start

本スキルは、パチンコ遊技機の型式試験申請書類（Word）に記載された各種動作時間（秒単位）と、設計仕様書（仕様書、AT開放Pー覧など）のタイム値を比較・検証します。パチンコプログラム特有の「1割込み（4ms）の処理補正」や、アタッカー閉鎖時の「球端み解除動作を含む閉鎖時間の加算」など、申請書作成の実務に即した整合性チェックを扱います。Wordファイル内の結合セルや改ページでの読み取りミスによる誤検知を避けるため、本スキルはWordの生表を直接検証せず、先に論理表モデルへ正規化してから検証します。本スキルは、特定のシート名・表題名・申請書レイアウトへの依存を避け、Word側は原本トレース情報付きの論理表へ再構成し、その論理表に対して仕様ロジックを適用することを基本方針とします。

Workflows

1. データの準備

- 設計仕様書（Excel/CSV）：
 - 仕様書シート（普図・普電テーブル）：普電のOP、開放時間、EDの時間値を準備。
 - AT開放Pー覧シート：特電（アタッカー）のベースED、球端み解除動作時間、閉鎖時間、小当りインターバルなどを準備。
 - シート名の完全一致ではなく、OP / 開放時間 / ED / インターバル / 球端み解除 / 閉鎖時間 / といった役割を持つ列・表を探索して読み取ります。
- Word書類（申請書）：
 - 役物構造・動作説明パートから、各動作時間（秒単位）を抽出します。
 - 表題や見出しの完全一致ではなく、当り開始時間 / 開放時間 / 小当り終了時間 / 小当り終了時間 / 秒 等の正規化済み見出し語彙を用いて対象表を特定します。
 - Wordの表は、そのまま比較せず、論理表モデルに正規化してから扱います。

Gemini Enterprise からスキルを呼び出す

| Gemini に申請書チェックを依頼

03 | 申請書 & 仕様書を添付

Gemini Enterprise のチャット画面から
チェック対象の申請書と開発仕様書を添付

Skills コネクタを有効化

04 | スキルを指定してチェック開始

どのチェック観点のスキルを使うか指定して
Gemini のチェック完了を待つ

🌟 こんにちは、Tetsuya さん
作業を始めましょう

型式申請書

Microsoft Word (.docx)

開発仕様書

Microsoft Excel (.xlsx)

メイン仕様書の内容を正しいとして、添付した申請書をtypetest-review-skillスキルを使ってレビューしてください。スキルの内容を先によく読んでから作業してください。思考に時間を使っていいので、見落としや誤検知、テーブルで結合されているセルの値の読み間違いに注意してください。

+ % ☰

3.5 Flash ▾ ▶

すべてのコネクタを有効にする



Google 検索



Box

承認

Sharepoint

承認

Skills



Gemini のチェック結果を見やすくする

デフォルト出力

🔥 3. 日本語表現の誤記 (DOC-TYPO)

① 【特別電動役物2】小当り開始時間（作動契機）のてにをは崩れ

- 申請書の記述:
 - 「特別図柄表示装置2に～図柄の組合せが表示され、停止後の判定処理により小当りと判断した場合、～経過後、又はに特別電動役物2の作動を開始します。」
- 指摘内容:

「経過後、又はに特別電動役物2の～」という、日本語として不自然な崩れ（コピペ時の残骸やTypo）が見られます。
- 💡 対策（修正案）:
 - 「経過後に特別電動役物2の作動を開始します。」に修正

🟢 4. 完全に整合している項目（合格項目）

以下の項目は、メイン仕様書（正資料）と申請書の間で完璧に一致しており、修正の必要はありません。

- 大当り終了時間の計算（残存球処理時間含む）:
 - 申請書に書かれている、特別電動役物1の終了時間（通常時等 、状態1時 ）、および特別電動役物2の図柄c終了時間（通常時等 、状態7時 ）は、仕様書ベースED（）に**残存球処理時間（下アタッカー 、Vアタッカー大当り後 ）**を足した値と完璧に一致しています。
- 小当り開始時間（OP）:
 - 特図1小当り（図柄A～I）の各状態における小当り開始時間、および特図2小当り（図柄a, b,

HTML で書き出す

大口径アタッカーをはじめとする特別電動役物および時間値の整合性検証について、**dashboard-generator**スキル（ダッシュボードレンダリング規約）に厳密に準拠した、静的に動作するHTMLダッシュボード（HTMLコードブロック）を生成しました。

本ダッシュボードは、正資料（メイン仕様書）と型式試験申請書（Word）の自動突合結果を視覚的に整理し、どの箇所の修正がどのような根拠で必要なかをひと目で直感的に追跡できるように設計されています。

HTML 

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
<head>
<meta charset="UTF-8">
<title>主制御・特別電動役物 時間値整合性検証ダッシュボード</title>
```

[さらに表示](#) ▼

Gemini のチェック結果を見やすくする

Chrome 拡張機能で開く

警告ID: WARN-004

高信頼性 (95/100)

【特別電動役物 2】小当り開始時間（作動契機）における日本語表現の誤記

場所: 第 1 - 10 (2) 特別電動役物 イ 特別電動役物 2 (ア) 作動契機

← 指摘箇所

原因: 特図2の小当り開始タイミングを記述した本文の文末において、「経過後、又はに」という、コピペ時の残骸または脱字による不自然なてにをは崩れ・日本語の乱れが発生しています。

← 指摘理由

申請書の記載

「～経過後、又はに特別電動役物2の作動を開始します。」

正しい仕様値

「～経過後に特別電動役物2の作動を開始します。」

← 修正案

文末の不自然な助詞を「経過後に」に修正してください。

技術的根拠:

「又はに」という文字列は、文章構成上かつ保通協向けの提出表現として誤記（タイポ）であることが明らかのため。

指摘箇所（申請書）: 第1-10 (2) イ (ア) 作動契機 第二段落文末

参照元（仕様書）: 表現妥当性チェック

毎週磨き上げる開発プロセス

「週次ですり合わせる」体制を開発プロセスに組み込み、現場の感覚とのズレを防ぐ

別システムでの作図が地味に不便……

1 画面で完結させたいというニーズに応え、
即座に Chrome 拡張で描画機能を補完

| Gemini Enterprise 上で描画



5. 手応えと今後の計画

ニューギン様の手応えと今後に向けて

01 専門タスクを AI で再現 基礎確立

専門判断を AI のロジック化

専門的な知見や判断基準を、AI 処理プロセスとして組み込むことに成功

AI による一次スクリーニング

不備の可能性が高い箇所を AI が事前にリストアップ

02 現場普及へ向けた UI/UX 最適化 要改善

脱・プロンプト手入力

スキルの呼び出しや定型文プロンプトの都度入力をなくし、直感的な操作感へ

日常業務への自然な溶け込み

処理待ちを意識させない夜間バッチ処理と、共有ドライブを開くだけで結果が届いているスマートな連携へ

grasys 側の手応え、まとめ

01 ノウハウのスキル化が重要 コア業務の AI 化の第一歩

現場のノウハウを手順書としてスキル化することが、AI とのチャットだけで終わらない、コア業務のAI化の第一歩

02 スキル作成にも Gemini を活用 Gemini の知識が反映される

Gemini にスキルを作らせることで、Gemini が持っている業界知識を取り込んでスキルが作成可能

03 Human-in-the-Loop の先 任せられる範囲を広げる

都度承認による業務停滞を防ぐため、一部の自律行動を「承認不要」に設定できる機能の追加を期待



【お問合せ先】

株式会社grasys MarketingTeam

E-Mail : contact@grasys.io

URL : <https://www.grasys.io/>